



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 丸大食品株式会社
コード番号 2288 URL <https://www.marudai.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 勇二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森本 芳史

TEL 072-661-2518

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	114,118	3.2	1,482		1,738		983	
2023年3月期第2四半期	110,557	1.2	754		515		575	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,794百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 601百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	39.34	
2023年3月期第2四半期	22.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	135,450	71,027	51.9	2,829.20
2023年3月期	126,261	69,014	54.1	2,731.03

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 70,319百万円 2023年3月期 68,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				20.00	20.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,000	2.3	1,500		1,900		900		36.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)に取得しました自己株式を考慮して算出しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	26,505,581 株	2023年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,650,567 株	2023年3月期	1,485,025 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	24,990,690 株	2023年3月期2Q	25,165,894 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、行動制限の緩和が一層進み、インバウンド需要も回復基調となったことや、雇用・所得環境に改善の兆しが見えてくるなど、景気は緩やかに回復の動きが見られました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなるほか、物価上昇や金融資本市場の変動など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費やインバウンド需要に回復の動きが見られるものの、原材料費やエネルギーコスト、物流コストなどの上昇による生活必需品の値上げが続かなかで、消費者の節約志向が一層強まるなど、厳しい環境が続いております。食肉相場におきましては、国産牛肉は物価上昇に伴う販売価格の上昇により需要が減少したことなどから、前年を下回って推移しておりますが、米産牛肉は生産量の減少により前年を大きく上回って推移しております。また、豚肉は、国産、輸入ともに飼料価格の高騰や物価高を背景とした牛肉からの需要シフトなどの影響から高止まっていることに加えて、為替相場の影響等により、輸入価格は高値で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3.2%増の1,141億18百万円、営業利益は14億82百万円（前年同期は営業損失7億54百万円）、経常利益は17億38百万円（前年同期は経常損失5億15百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億83百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億75百万円）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	73,414	76,103	2,689 (3.7%)	△767	1,146	1,914 (-)
食肉事業	37,075	37,958	882 (2.4%)	△6	321	327 (-)
その他	67	56	△11 (△16.6%)	19	14	△5 (△26.2%)
合計	110,557	114,118	3,560 (3.2%)	△754	1,482	2,237 (-)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	31,323	31,770	446 (1.4%)
調理加工食品	42,091	44,333	2,242 (5.3%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、主力商品の「燻製屋」シリーズから、他社とのコラボ商品第2弾として「燻製屋熟成あらびきポークウインナー 沖縄南部島唐辛子」を数量限定で発売するなど、拡販に努めました。中元ギフトにつきましては、中元市場の縮小などから売上高は減少しましたが、新商品として人気キャラクターを使用した「B T 2 1 ひとくちカルパス」や「ハイキュー!!フィッシュソーセージ」などを投入し売上拡大を図った結果、価格改定による効果もあり、当部門の売上高は前年同期比1.4%の増収となりました。

調理加工食品部門では、コンビニエンスストア向け商品やデザート類の売上高が堅調に推移しました。また、「サラダチキン」シリーズが好調に推移したほか、主力の「ビストロ倶楽部濃厚カレー」シリーズの拡販に努めた結果、当部門の売上高は前年同期比5.3%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比3.7%増の761億3百万円となりました。セグメント利益は、原材料価格の高騰などのコスト増加要因があるものの、価格改定による効果や合理化などのコスト削減に努めた結果、11億46百万円（前年同期は7億67百万円の損失）となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、消費者の節約志向の高まりから量販店向け販売は伸び悩みましたが、外食産業向けの需要が順調に推移したことなどから、牛肉全体の売上高は前年を確保しました。豚肉につきましては、量販店向けの輸入豚肉の販売が好調に推移したことや外食産業向けの需要が回復してきていることなどから、国産、輸入ともに、売上高は前年を上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比2.4%増の379億58百万円となりました。セグメント利益は、3億21百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比16.6%減の56百万円、セグメント利益は前年同期比26.2%減の14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	126,261	135,450	9,189
負債	57,246	64,423	7,176
純資産	69,014	71,027	2,012
自己資本比率	54.1%	51.9%	△2.2%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金が45億45百万円、投資有価証券が24億54百万円、現金及び預金が17億32百万円、原材料及び貯蔵品が14億46百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ91億89百万円増加し、1,354億50百万円となりました。

負債は、未払金11億18百万円の減少がありましたが、有利子負債が33億55百万円、支払手形及び買掛金が33億32百万円、繰延税金負債が6億25百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ71億76百万円増加し、644億23百万円となりました。

純資産は、剰余金5億円の配当や自己株式2億77百万円の取得がありましたが、その他有価証券評価差額金17億3百万円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益9億83百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ20億12百万円増加し、710億27百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から2.2%低下し、51.9%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,136	2,963	1,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,928	△3,404	△475
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184	2,173	989
現金及び現金同等物の増減額	△607	1,732	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,383	8,648	1,265

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、29億63百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、34億4百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや自己株式の取得による支出がありましたが、有利子負債の増加などから、21億73百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から17億32百万円増加し、86億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社を取り巻く環境は、原材料価格の高騰などのコストアップ要因が見込まれるうえに、消費者の節約志向の高まりを受けての販売環境の悪化が懸念されるなど、厳しい状況が続く見通しです。これらを踏まえ見直しを行った結果、2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日付公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,916	8,648
受取手形及び売掛金	23,897	28,442
商品及び製品	12,370	12,711
仕掛品	509	620
原材料及び貯蔵品	6,351	7,798
その他	1,385	1,267
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	51,416	59,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,370	63,591
減価償却累計額	△46,038	△46,656
建物及び構築物 (純額)	17,332	16,934
機械装置及び運搬具	74,993	76,065
減価償却累計額	△59,653	△61,401
機械装置及び運搬具 (純額)	15,340	14,663
工具、器具及び備品	4,720	4,453
減価償却累計額	△3,432	△3,179
工具、器具及び備品 (純額)	1,288	1,273
土地	18,346	18,135
リース資産	9,122	9,374
減価償却累計額	△4,596	△4,929
リース資産 (純額)	4,526	4,445
建設仮勘定	486	426
有形固定資産合計	57,319	55,879
無形固定資産		
投資その他の資産	1,573	1,222
投資有価証券	11,438	13,893
関係会社株式	262	311
長期貸付金	19	17
退職給付に係る資産	1,861	2,023
繰延税金資産	317	322
その他	2,172	2,436
貸倒引当金	△120	△131
投資その他の資産合計	15,951	18,874
固定資産合計	74,844	75,975
資産合計	126,261	135,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,754	24,086
短期借入金	9,858	14,765
1年内返済予定の長期借入金	2,917	2,621
リース債務	1,024	1,013
未払金	6,714	5,595
未払法人税等	215	516
未払消費税等	299	339
賞与引当金	781	874
構造改革引当金	178	149
その他	1,320	1,723
流動負債合計	44,063	51,686
固定負債		
長期借入金	5,255	4,089
リース債務	3,735	3,655
繰延税金負債	1,961	2,586
退職給付に係る負債	1,467	1,491
構造改革引当金	144	274
その他	620	638
固定負債合計	13,183	12,736
負債合計	57,246	64,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	38,388	38,871
自己株式	△3,342	△3,619
株主資本合計	63,848	64,053
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,952	6,656
繰延ヘッジ損益	0	40
為替換算調整勘定	56	74
退職給付に係る調整累計額	△526	△504
その他の包括利益累計額合計	4,483	6,265
非支配株主持分	682	707
純資産合計	69,014	71,027
負債純資産合計	126,261	135,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	110,557	114,118
売上原価	95,364	96,902
売上総利益	15,193	17,215
販売費及び一般管理費	15,947	15,732
営業利益又は営業損失(△)	△754	1,482
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	162	166
不動産賃貸料	75	71
その他	133	176
営業外収益合計	380	422
営業外費用		
支払利息	112	117
その他	28	49
営業外費用合計	141	166
経常利益又は経常損失(△)	△515	1,738
特別利益		
固定資産処分益	41	4
特別利益合計	41	4
特別損失		
固定資産処分損	124	36
減損損失	8	3
構造改革費用	—	438
特別損失合計	132	479
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△607	1,264
法人税、住民税及び事業税	110	389
法人税等調整額	△150	△137
法人税等合計	△40	252
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△567	1,011
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	28
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△575	983

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△567	1,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	1,703
繰延ヘッジ損益	29	39
退職給付に係る調整額	35	21
持分法適用会社に対する持分相当額	27	17
その他の包括利益合計	△34	1,782
四半期包括利益	△601	2,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△609	2,765
非支配株主に係る四半期包括利益	8	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△607	1,264
減価償却費	3,767	3,524
減損損失	8	3
構造改革費用	—	438
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	10
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△94	△108
受取利息及び受取配当金	△171	△173
支払利息	112	117
固定資産処分損益 (△は益)	83	31
売上債権の増減額 (△は増加)	△601	△4,555
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,344	△1,897
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,054	3,332
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56	39
その他	△80	898
小計	1,059	2,926
利息及び配当金の受取額	194	174
利息の支払額	△112	△117
法人税等の支払額	△144	△247
法人税等の還付額	159	261
特別退職金の支払額	△19	△34
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,136	2,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△18	△18
固定資産の取得による支出	△3,012	△3,355
固定資産の売却による収入	153	10
その他	△51	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,928	△3,404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,151	4,907
長期借入金の返済による支出	△1,413	△1,461
リース債務の返済による支出	△517	△490
配当金の支払額	△755	△500
自己株式の取得による支出	△276	△277
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,184	2,173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△607	1,732
現金及び現金同等物の期首残高	7,990	6,916
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,383	8,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	31,323	—	31,323	—	31,323	—	31,323
調理加工食品	42,091	—	42,091	—	42,091	—	42,091
食肉事業	—	37,075	37,075	—	37,075	—	37,075
その他	—	—	—	67	67	—	67
顧客との契約から 生じる収益	73,414	37,075	110,490	67	110,557	—	110,557
外部顧客への売上高	73,414	37,075	110,490	67	110,557	—	110,557
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	417	417	△417	—
計	73,414	37,075	110,490	484	110,974	△417	110,557
セグメント利益又は損失 (△)	△767	△6	△774	19	△754	—	△754

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、第2四半期連結累計期間においては8百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
ハム・ソーセージ	31,770	—	31,770	—	31,770	—	31,770
調理加工食品	44,333	—	44,333	—	44,333	—	44,333
食肉事業	—	37,958	37,958	—	37,958	—	37,958
その他	—	—	—	56	56	—	56
顧客との契約から 生じる収益	76,103	37,958	114,062	56	114,118	—	114,118
外部顧客への売上高	76,103	37,958	114,062	56	114,118	—	114,118
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	412	412	△412	—
計	76,103	37,958	114,062	468	114,530	△412	114,118
セグメント利益	1,146	321	1,468	14	1,482	—	1,482

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	食肉事業	計				
減損損失 (注)1	331	—	331	—	331	3	335

(注)1 「加工食品事業」セグメントの331百万円は、「構造改革費用」として計上しております。

2 各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失3百万円を計上しております。